

教育委員会だより

第 112 号
H25.11.5

阿賀野市
教育委員会



平成二五年第十一回教育委員会より

平成二五年第十一回教育委員会が開催されましたので、その要旨を報告いたします。
この内容はあくまでも要旨であり、詳細につきましては、正式な手続きにより会議録を閲覧ください。

一 日時 平成二五年十月二八日(月)

午後一時三十分～

二 笹神支所 四階 委員会室1

三 要旨

(1) 平成二五年第十回教育委員会定例会
議録の承認

(2) 行事報告

前回(九月二七日)から今回までの事務局の
事業報告と質疑

○新潟県スポーツ推進委員会大会

・九月二八日(土)～二九日(日) 佐渡市

・ 校園長会議・十月二日(水) 笹神支所

・ 市教委学校・社会教育施設訪問

・ 十月一日(火) 安田中・赤坂小・山手小

- ・ 十月三日(木) 安田幼・保田小・石船戸遺跡 阿賀野市小中科学発表会
- ・ 十月三日(木) ふれあい会館 部落解放第三〇回新潟県研究集会
- ・ 十月五日(土) 長岡市立劇場
- 緑の少年団グリーンキャンパ
- ・ 十月五日～六日 五頭連峰少年自然の家 平成二六年度人事異動方針説明会
- ・ 十月十日(木) 県立教育センター 前山小学校閉校記念文化祭
- ・ 十月十二日(土) 前山小学校
- 「深めよう絆」県民運動下越地区の集い
- ・ 十月十二日(土) 聖籠町町民会館 県都市教育長協議会秋季定期総会
- ・ 十月十七日(木)、十八日(金) 胎内市 新潟県社会教育研究大会
- ・ 十月十八日(金) 魚沼市小出文化会館 新潟県縦断駅伝競走大会
- ・ 十月二〇日(日) 安野小学校前中継 下越教育事務所管内教育長会議
- ・ 十月二二日(月) 下越教育事務所 県小教研・市学教研合同教育研究発表会
- ・ 十月二三日(水) 神山小学校 安野小学校一三〇周年記念集会
- ・ 十月二七日(日) 安野小学校

(3) 議件

議案第七五号 要保護及び準要保護児童
生徒の認定について 承認

申請者数十一名 認定者数十一名

議案第七六号 専決処分(専第十一号) 阿賀野市教育委員会後援承諾)の承認について 承認

承認

*二〇一三年度下越支部「教職員と保護者の
会」コンサート 後援

代表 県教職員組合下越支部長 網代鋼一

日時 十一月二二日(金)

会場 五泉市「ガーデンホテルマリエール」
議案第七七号 専決処分(専第十二号) 阿賀野市教育委員会後援承諾)の承認について 承認

承認

*子どもステージ「おぼけリンゴ」 後援

新潟市北区文化会館 館長 齋藤美代子

日時 平成二六年一月十八日(土)

会場 新潟市北区文化会館ホール
議案第七八号 共催・後援願いの承認につ
いて 承認 一件

*第十回親子ドッジボール大会 共催

代表 京ヶ瀬地区防犯連絡協議会 会長
齋藤由春

十一月二四日(日)
会場 前山小学校「体育館」

(4) 協議

協議1 整備計画の検討

小学校整備計画への今後の対応

・ 適正規模の考え方に変更はない

・ 出生数を含む地域の諸事情を勘案し、地
域の声を聞きながら時間をかけて協議を
進める

- ・安田地区PTA関係者との懇談を予定
- 協議2 平成二五年度全国学力・学習状況調査について

- ・学力向上に向けた今後の取り組み
- ・改善の論点(これまでの審議から)

- ① 授業改善の表現・言語活動、学び合い
- ② 家庭学習の工夫のやりかたと橋渡し
- ③ 生活時間とテレビ・ゲームの時間

補充指導の工夫

- ・各学校の分析結果並びに学力向上に向けた今後の取り組みについての報告を集約

- ・各校的成果と課題の明確化を踏まえた重点的取り組みは、概ね9項目にわたり、審議の論点とも一致

- ①④について、市教委としてどのように支援していくか、また各校の取り組みの留意点などについて検討

- ・協議内容は次回の校園長会で伝達し、管内の先進的事例も紹介。自校課題に焦点を当てた改善策を支援していく。

- ・計画訪問や要請訪問に加えて、中学校では教科別研修会やWeb担当者会を開催

(5) その他報告・事務連絡

児童・生徒及び教職員の事故報告

児童・生徒 非行事故 小一件 中一件
教職員 速度超過一件 被害事故一件

給食食材の放射性物質測定の結果を全て検出限界以下

群馬県キャベツ・新潟市小松菜 高知長なす 北海道大根・じゃがいも・たまねぎ

「奨学金制度」の見直しについて

- ・入学準備金の創設/返済期間・方法/応募期間・貸付時期などの見直し

- 経営戦略プランの説明/学教・生涯学習

- 学校給食食物アレルギー対策マニュアル並びに異物混入対応マニュアルの作成

- 事務連絡
- ・教育委員会だより一一号配布
- ・県及び市町村教育委員の異動6件
- ・市適応教室通信「ルームだより」の配布

(6) 今後の日程について

第五六回阿賀野市中学校音楽会

- ・一〇月三〇日(水) 笹神中学校体育館

- 明るい家庭づくり作文コンクール

- ・十月二十九日(火) 審査会

- ・十一月十三日(水) 表彰式 水原保健C

- ・企画展「竹久夢二と阿賀野展」

- ・十一月一日(金) 十二月二五日(水)

- ・十一月四日(月) ミュージアムコンサート

- ・十一月十日(日) ギャラリートーク

- ・場所 吉田東伍記念博物館2F

- 各地区文化祭

- ・十一月二日 各地区体育館等

- 市功労者表彰式

- ・十一月三日(日) 水原保健C研修室

- 定例校園長会議 十一月五日(火)

- 総務文教常任委員会 十一月五日(火)

- 市教委人事管理ヒアリング 笹神支所

- ・十一月六日(水) 小学校6校

- ・十一月八日(金) 小学校5校

- ・十一月十一日(月) 中学校4校

- 第十回阿賀野市小学校音楽祭

- ・十一月八日(金) 水原総合体育館
- 前山小学校閉校記念式典

- ・十一月十日(日) 前山小学校

- 新発田税務署「税に関する作文」表彰式

- ・十一月十四日(木) 新発田市生涯学習C

- 県人事管理に係る教育長ヒアリング

- ・十一月十五日(金) 下越教育事務所

- 第2回公立図書館長会議

- ・十一月十五日(金) 県立図書館

- 小学校長会管理研修会

- ・十一月二一日(木) 水原小学校

- 阿賀野市P連総会・講演会

- ・十一月二三日(土) 水原保健C

- 子ども夢フェスタふれあい会館

- ・十一月三日(土) ふるさと子ども絵画展

- ・十一月二三日(土) ふれあいステージ

- ・十一月二四日(日) 表彰式

- 県特別支援学校知的障害教育研究会研修会

- ・十一月二二日 駒林特別支援学校

- 第十二回教育委員会定例会

- ・十一月二六日(火) 笹神支所

終了 午後五時四五分

平成二五年度全国学力・学習状況調査

結果と分析は別紙のとおりです。

小・中学校共に、全国水準を100とした標準化得点の経年変化と、課題解決のための視点を付しています。

(別紙1) 平成25年度 全国学力・学習状況調査【小学校】調査結果

1 全国平均を100とした標準化得点(上段)と平均正答数(下段)

地域 調査項目 年度	阿 賀 野 市					
	19年度	20年度	21年度	22年度	24年度	25年度
国語A：知識	▼99	▼99	▼98	▼99	▼98	△101
国語B：活用	100	▼98	▼97	▼99	▼98	▼99
算数A：知識	▼99	▼99	▼98	▼99	▼98	△101
算数B：活用	▼98	▼98	▼98	▼98	▼98	100
理科	*	*	*	*	100	*
国語A：知識	14.4 / 18	11.3 / 18	11.9 / 18	12.1 / 15	13.3 / 17	22.2 / 32
国語B：活用	6.2 / 10	5.6 / 12	4.4 / 10	7.6 / 10	5.5 / 11	4.8 / 10
算数A：知識	15.4 / 19	13.5 / 19	13.4 / 18	13.8 / 19	13.3 / 19	15.1 / 19
算数B：活用	8.4 / 14	6.2 / 13	6.9 / 14	5.4 / 12	7.0 / 13	7.6 / 13
理科	*	*	*	*	14.5 / 24	*
調査対象	全校	全校	全校	抽出	抽出(*)	全校

(△全国より上位、▼全国より下位)

(*) 抽出校に加え、市費対応で全校調査を実施

2 標準化得点における傾向と分析

(1) 標準化得点では、全国と比べ、国語A(知識)、算数A(知識)のいずれも1ポイント上回っている。国語B(活用)は1ポイント下回っているが、算数B(活用)については全国平均とのポイント差はない。

前年度(24年度)の段階で、19年度からの低下傾向(22年度は抽出校調査であり、比較から除外)に歯止めがかかった状況となった。今年度は、さらに上昇し全国平均を上回る成績を示している。明らかに学力は向上に転じている。

(2) 平均正答数では、全国と比べ、国語A(知識)、算数A(知識)のいずれも0.4問上回っている。国語B(活用)は0.1問下回っているが、算数B(活用)については全国平均との差はない。平均正答数においても調査開始以来最もよい成績を示している。

3 児童質問紙調査に見られる課題と対応 ~学力の向上と学習・生活習慣の育成に向けて~

(1) 学ぶことが好きな児童にするために

① 学習に対する関心・意欲・態度

市小学校児童の学習に対する関心・意欲・態度は良好な状況にある。従来より、よく学習の意義(「学習は大切」)を認識し、取り組む態度(「~するようにしている」)も全国平均を上回る状況にあった。しかし、学習意欲を支える「教科(国・数)の学習が好き」という項目は、全国平均を下回る状況が続いていた。内容が分かり、学ぶことが好きになってこそ長期にわたる学力向上も期待できる。この問題の解決こそ重要である。今回の調査で、国語科はこの項目も全国平均を上回った。成績の推移から、今後算数科も同じように好転するものと推測される。

② 授業改善の推進

各小学校は、それぞれ自校の学力実態を分析し、研究主題を設定して授業の改善に真摯に努めてきた。その取組の成果が実を結びつつあることが学力調査・質問紙調査のいずれにも現れている。各校がこの成果を励みとして、一層児童が学ぶことを好きになるように授業の質的改善が推進されるよう市教育委員会として支援していく必要がある。

(2) 家庭での過ごし方と学習習慣の改善のために

① 生活習慣

早寝・早起きや朝食など健康的な生活習慣についてはいずれも全国平均に比べやや優位な状況にある。今後もこうした状況は継続したい。

課題は、家庭での時間の過ごし方にある。テレビ、DVD、ゲームなどメディアに費やす時間が全国平均に比べて明らかに長く、児童の生活時間を圧迫している。これでは家庭学習や読書に十分な時間を確保することも難しい。メディアの利用時間を含めた生活時間の配分を指導し、学校と家庭が協力してメディアコントロールに取り組むべきである。

② 学習習慣

各小学校の継続的な取組により、年々家庭学習は定着してきている。平日の家庭学習時間は「2時間以上」では全国平均を下回るが、「1時間以上2時間以内」では全国平均の倍に近い実施率である。これは、全ての小学校で「学年×10分」の家庭学習が強力に指導されてきたことの効果といえる。今後は、家庭学習時間の拡大を目指すとともに学習内容の質を高めていく時期といえよう。

一方、家庭での読書時間は全国平均に比べて明らかに短く、図書館の利用頻度も少ない。新しく策定された「阿賀野市子ども読書活動推進計画」に沿って、学校・家庭・地域それぞれの立場から改善に取り組みたい。

(別紙2) 平成25年度 全国学力・学習状況調査【中学校】調査結果

1 標準化得点(上段)と平均正答数(下段)

地域 調査項目 年度	阿 賀 野 市					
	19年度	20年度	21年度	22年度	24年度	25年度
国語A：知識	▼98	▼98	▼98	▼99	▼97	▼96
国語B：活用	▼99	▼98	▼97	100	▼96	▼96
数学A：知識	▼97	▼97	▼96	▼98	▼96	▼94
数学B：活用	▼98	▼98	▼97	▼98	▼95	▼94
理科	*	*	*	*	▼96	*
国語A：知識	29.5 / 37	24.0 / 34	24.1 / 33	26.1 / 35	22.4 / 32	22.2 / 32
国語B：活用	6.9 / 10	5.6 / 10	7.6 / 11	6.6 / 10	5.0 / 9	5.1 / 9
数学A：知識	23.7 / 36	19.6 / 36	18.2 / 33	22.4 / 36	19.8 / 36	18.2 / 36
数学B：活用	9.3 / 17	6.5 / 15	7.3 / 15	5.7 / 14	5.8 / 15	4.5 / 16
理科	*	*	*	*	11.2 / 26	*
調査対象	全校	全校	全校	抽出	(*)抽出	全校

(△全国より上位、▼全国より下位)

(*)抽出校に加え、市費対応で全校調査を実施

2 標準化得点における傾向と分析

- (1) 標準化得点では、全国と比較して国語A・Bで4ポイント、数学A・Bで6ポイント下回っている。抽出校調査であった22年度を除くと、調査の開始された平成19年度から、前年度(24年度)まで低下傾向が続いており低下に歯止めがかかっていない状況にあった。今年度は、さらに低下している。調査開始以来、最も低い得点となっている。
- (2) 平均正答数では、設問数の少ない国語の活用で1問下回り、国語の知識で2.2問、数学の活用で2.1問、設問数の多い数学の知識では4.7問下回っている。いずれの調査項目においても、これまでで最も大きな差を示している。

3 生徒質問紙調査に見られる課題と対応 ～学力の向上と学習・生活習慣の育成に向けて～

(1) 学ぶことが好きな生徒にするために

①学習に対する関心・意欲・態度

市中学校生徒の学習に対する関心・意欲・態度については、従来からの課題を払拭できていない。「教科(国・数)の学習は大切」という認識は全国平均を上回る。また、取り組む態度(「～しようとしている」)もいくつかは全国平均を上回るが、「授業の内容が分かる」「教科(国・数)の学習が好き」を含め、多くは全国平均を下回っている。こうした状況は従来の調査でも同様であり、改善が目に見えるまでには至っていない。

②授業改善の推進

教科(国・数)の学習が好きでない状況が続けば、意欲は低下し、やがて関心も態度も低下していく。内容が分かり、学ぶことが好きになるように、一人一人の生徒に確かな学びを保障する授業改善に取り組むことが急務である。授業での学習によって知的な成長を実感できれば意欲は急速に回復できる。現在、各中学校は、こうした認識のもとに授業改善への着手と推進を急ぎつつある。市教育委員会は、この取組が実を結び、改善が目に見える形となるまで全力を注いで支援していく必要がある。

(2) 家庭での過ごし方と学習習慣の改善のために

①生活習慣

定時就寝・定時起床や朝食など生活習慣としての規則正しさは維持されているが、就寝・起床の時刻は遅い方にずれ込むなど生活の実質は低下し、睡眠時間の不足も現われている。問題は、小学生と同様に生活時間の多くがテレビ、DVD、ゲームなどメディアに費やされていることにある。この生活状況では、家庭学習や読書の時間の確保は困難であり、家族との関わり(手伝い、会話)や睡眠時間までも圧迫される。小学校以上にメディアコントロールに取り組む必要性は高い。

②学習習慣

市の中学校生徒の家庭学習時間は、全国平均を大きく下回っている。平日の家庭学習時間は小学校と同様に「1時間以上2時間以内」に集中しているが、その実施率は小学校の1/2程度にとどまっている。まず、授業と関連づけた課業(宿題)として強制しても実施率を高めたい。同時に中学生にふさわしい量と質の確保に努め、本来あるべき姿を実現したい。

家庭での読書時間は短く、図書館の利用頻度も少ない。読書は生活に位置していない。新しく策定された「阿賀野市子ども読書活動推進計画」に沿って、改善に取り組みたい。